

はじめに

平成 28 年 4 月 14 日 21 時 26 分および同月 16 日 1 時 25 分に発生した「平成 28 年熊本地震」は、震度 7 の大地震が同一地域においてわずか 28 時間の間に 2 度も発生し、その後も余震が半年間で 4,000 回を超えるなど、観測史上初めての大災害となりました。

改めまして、亡くなられた方々とそのご遺族に対し、哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、本市では熊本地震により発生した災害廃棄物の処理を、発災から約 2 年間で完了するという目標を掲げ進めてまいりました。これまでに経験したことがない質と量の災害廃棄物の処理は困難を極めました。環境省をはじめとする関係省庁や全国の自治体、地元事業者等の皆様から多くのご支援ご協力を賜り、最終的に約 151 万トンもの膨大な量の災害廃棄物の処理を、おおむね目標どおりに完了することができました。ここに、皆様方のご支援に対し心から感謝申し上げる次第でございます。

自然災害が多い我が国においては、熊本地震の発生以降も平成 29 年 7 月九州北部豪雨や平成 30 年 7 月豪雨、令和元年東日本台風など、毎年のように全国各地で大規模な災害が発生しており、甚大な被害をもたらしています。

これらの災害においても多量の災害廃棄物が発生しておりますが、その処理は多くの自治体にとって初めての経験になることから、本市では、熊本地震の際に培った災害廃棄物処理に関する経験やノウハウを生かし、被災地へ職員を派遣するなど積極的な支援を行っております。

このような中、熊本地震の経験から得た教訓等を後世に残し伝えるとともに、広く発信することが本市の重要な責務であると考え、本誌を発行した次第です。今後、避けることのできない自然災害の際に、本誌が被災自治体の災害廃棄物処理の一助になれば幸いです。

結びに、本市の災害廃棄物処理にご支援を賜りました関係省庁や全国の自治体、地元事業者等の皆様に、重ねて感謝申し上げますとともに、本誌の編纂にご協力を賜りました関係各位に深く感謝申し上げます。

令和 2 年（2020 年）3 月

熊本市長 大西一史